

令和5年度第1回小規模多機能型居宅介護事業所

「紙ふうせん」運営推進会議議事録

日 時：令和5年4月27日（木）10：30～11：30

場 所：野栄福祉センター 1階和室

出席者：大木公正 大木健守 伊野喜代司 及川大樹 太田奈津栄 江波戸勝
高齢者支援課 須郷

社協	局長
紙ふうせん	佐藤

●開会のことば 及川副委員長

●委員長あいさつ

●局長より

推進委員の任期は2年となっている。今年度3人の委員が変更になっている。運営規定で運営推進会議の委員長、副委員長を互選で決定する。委員長に大木公正氏、副委員長に及川大樹氏を提案するが了承いただけるか。

●議題

(1) 令和4年度2月・3月運営状況及び利用実績の報告について

委員長：以上報告がありました何か質問はあるか。

委員長：利用者の体調は変わりないか。

佐 藤：季節の変わり目なので不調を訴え休む利用者もいる。

及 川：利用実績で2月の通いが3月より少ないのには理由があるのか。

佐 藤：2月は営業日数が少ないためだと思われる。

江波戸：利用者家族として今回より参加させてもらうが、母は先日100歳を迎えた。以前より家に居るのが好きで外に出るのが嫌いだったが、認知症が進行しないように外に出る機会を作りたかった。幸い近所の人が紙ふうせんを利用して声かけしてくれたので利用する気になった。

佐 藤：独居で支度に時間がかかる方には個別に迎えに行っている。誕生日会の食事などは誕生者の希望を聞いて食べたい物を提供している。

及 川：元気で長生きしている人が身近にいて頑張っていると、他の高齢者にとって良い見本になる。

及 川：野栄地区に100歳以上の高齢者は何名いるのか。

局長：4/1 現在で栄地区女性 2 名野田地区男性 1 名女性 3 名の 6 名。

及川：利用者は調理等を手伝うのか。

佐藤：感染症等衛生面に考慮し、調理を手伝ってもらえることはない。下膳など出来ることはやってもらうこともある。

委員長：リーダーシップをとる利用者はいるのか。

佐藤：男性利用者がレクリエーションの時にゲームのアイデアを出したり、他の利用者に声掛けしたり積極的に雰囲気を作ってくれる。

大木：5月8日からコロナの感染症法上の位置づけが変わって、以前のようにボランティアも来られるようになればいい。

(2) 令和4年度の運営状況及び利用実績の報告について

(3) 令和5年度行事、勉強会、研修会予定について

委員長：行事計画を見ると前年度とあまり変わっていない。

佐藤：勉強会は高齢者虐待や感染症などは実施しないといけなくて毎年おこなっている。

大木：紙ふうせんには認知症の利用者は何人いるのか。

佐藤：認知症の進んでいる方、物忘れ程度の方とそれぞれだが、介護度が付いているのでなにかしらある。

大木：現在オレンジカフェは月1回だが、週1回ぐらいに増やしてもらい認知症でも地域の行事に参加してもらい、認知症だからと言って地域で孤立しないようにしていきたい。

佐藤：そのためには周囲の認知症に対する理解やフォローが必要になってくる。

太田：5月25日にチューリップ広場ので栄保育園、東保育園、野田小学校、シニアクラブで世代間交流事業として芋苗を植える。詳細はこれから話し合うが、紙ふうせんの利用者にもぜひ参加して欲しい。

佐藤：ぜひ参加したい。

及川：花見は利用者は関心があるのか。

佐藤：外出するのはいいが、同じ場所になってしまうので何年も利用している方は、同じなら行かないということもある。

委員長：紙ふうせんの生垣の際に花を植えてはどうか。地区社協で予算をとってもいいが。

佐藤：玄関脇に花壇があるが、木があるので玄関からは見えない。草取りは職員がボランティアでやっている。

及川：草取りなどは我々がやってもいい。

(4) その他

局長：週3回勤務してくれる看護師の採用が決まった。

厚労省の設備及び運営に関する基準の一部改定で虐待、ハラスメント、感染症、事業継続計画の検討委員会を作り対策の指針の作成、職員研修をすることとなった。重要事項にも関係するので早めに指針を作成する。4/25に第1回の委員会を開催した。

●閉会のことば 及川副委員長